

診察室から こんにちは

ながまつ産婦人科・小児科
(レディースクリニック)

永松 晃
☎72-3788

南海本線鳥取ノ荘駅前(阪南市)
<http://www.rinku.zaq.ne.jp/nagamatsu>

妊婦さんと赤ちゃんの絆

妊婦さんがお腹の中に赤ちゃんがいることを自覚されるのに、色々な方法がありますが、今回は超音波(エコー)のお話をします。

生理が遅れると、まず妊娠が考えられるわけですが、1週間遅れた時には、子宮の中に、胎嚢と呼ばれる羊水が溜まった袋がみえます。この1週間遅れた時点で、すでに妊娠5週(妊娠2ヶ月)になつてるのであります。早期にみてもらったほうが良いというのは、この時点で、子宮外妊娠や、流産などの異常妊娠でないかをチェックする必要があるからです。

また、双子の場合もあります。6週では、確実に、胎児心拍が確認されます。妊娠は4週毎に1カ月ずつ進みます。また、赤ちゃんの大きさを元にして、予定日が計算されます。最終生理から計算すると、不順な方や、周期の長い方ではズレが生じます。妊娠8週(3ヶ月)には、身長(頭からお尻まで)13ミリ、4カ月に入る12週には50ミリになります。こうして育つてゆく姿を、エコー画面を通してずっと、みてゆくことに

なります。5カ月(16週～19週)には胎動を感じるようになりますが、性別も分かります。知りたい方には、お教えしますが、妊婦さんも、あれこれ夢を膨らませる時期ですね(ダンナ様も)。また、この時期には、ほとんどの奇形や、異常、予想体重などが分かります。こうして赤ちゃんの顔や動きを見て、だんだん絆が深まってゆきます。写真やビデオに残すこともできます。ダンナ様も一緒に見えてください。ご両親の夢が膨らむように、28週で1、250g、32週1,900g、36週2,600gと赤ちゃんは大きくなっています。勿論小さすぎたり、大きすぎたりすればそれなりの、治療や、対策が必要です。お腹の中にいる時からの絆、それは胎教そのものです。こうした親子には虐待はほとんどありません。親は子を育てていると同時に、子によつて親として育てられているという、母子相互作用が働くためだと言われています。

不正出血、おりもの、カユミ

御来院いただく患者さんの多くが、この訴えでお越しになられます。若い方から年配のかたまで、幅広くあります。大切なのは、その原因を探る事にあります。大半は、腫炎や感染症、ピラン等の良性病変ですが、癌もまれにあります。一人で悩まず、できれば、お友達と買い物に行くぐらいの気軽さでおこしください。また、介護老人の世話をされておられる方、オムツに、出血やおりものが付いていませんか。お電話ください。